

水をきれいに

岩滝いわたき小学校

四年

吉川よしかわ

あやか

わたしは、社会の勉強で、流した水はどこに行くのだろう。という学習問題を考えました。その答えを見つげるためにわたし達は、宮づわん浄化センターに行きました。わたしがお話や見学で一番おどろいたことは、水をきれいにする主役のび生物です。

わたしは、び生物が水をきれいにする主役と聞いて、び生物はどんな仕事をするのかな

岩滝小学校

と思いました。び生物はミリメートルよりもさらに小さいマイクロメートルで、けんびきょうでしか見られないほど小さいです。かとても大事な仕事をしています。それは、水のごを食べる仕事です。わたしは、見学をするので、水のごを機かいて取ると思っています。機かきました。けれど水をきれいにするのは、機かいてではなくび生物がするということか分かり、び生物が水をきれいにする主役だと分かりました。わたしはび生物かとても大事なと分か

りました。

わたしはび生物のほかにおどろいたことがあります。それは浄化センターの仕事です。

わたしは、浄化センターで働いている二十五人の人、よごれを食べるび生物、機かいが三百六十五日働いていると聞いてとても大変だと思いました。水をきれいにして流すほかにはてんけんや下水道管のそうじをしていると分かりました。仕事をしている時に気をつけておられることは機かいがこしようにしない

岩滝小学校

ようにかんりすることだと分かりました。わたしは、機かいがこしようにすると水を流したり、きれいにしたりできなくなるから大切にかんりしているんだと思いました。

宮づわん浄化センターは、与謝野町と宮づわん市から水が送られていて、一日に八千五百から九千立方メートル（プールの水四十ばい分）だと聞いてたくさん水をきれいにするのは働いている人や、び生物にとってとても大変だと分かりました。

「流した水はどこへ行くのだろう」という
学習問題の答えは、浄化センターでした。水
をきれいにする仕事はほかの仕事とはちがっ
て、生物の力もかりてきれいにしていました。
水の勉強をする前は、正直ぜん水について
は考えたことはなかったけど、勉強をするこ
この水は下水道管を通って浄化センターに行く
んだと思うようになりました。使っていない時
は止める、たくさん水は出さないようにしよ
うと思いました。

岩滝小学校